

# 2026-27 年度 2680 地区 地区方針



## ガバナーの行動指針

# SHAPE OUR FUTURE TOGETHER

ロータリーの未来を共に創っていきましょう

## ガバナーの行動指針

### SHAPE OUR FUTURE TOGETHER

会員やクラブが積極的に行動することで、共にロータリーの未来を創造することを目指す

6つのキーワード

|                       |                                              |
|-----------------------|----------------------------------------------|
| 会員個人の成長とリーダーシップの育成    | ロータリー活動を通じて自らが成長し、リーダーシップを育成する。              |
| ビジョンの構築               | 具体的なビジョンを持ち、それに基づいて行動することで、未来を創造することが可能になる。  |
| 積極的な奉仕活動による社会への貢献     | ロータリーの存在意義は社会への奉仕活動にある。                      |
| ロータリーのイノベーションへの積極的な姿勢 | 変化の激しい時代において、古い考え方から脱却し、新しい方法で対応するスキルを身につける。 |
| 多様な視点の受容              | 教条主義に陥らず、異なる視点に耳を傾け、対話を通じて新しい可能性を見出す。        |
| 次世代の育成                | 青少年奉仕をしっかり進めることがロータリーの継承につながり、未来への懸け橋となる。    |

これらのキーワードを推進することによって、持続可能なインパクトを生み出し、ロータリーの未来を創っていくことにつながる。

## 活動方針

- ◆ 国際ロータリー会長方針の理解と実践を行おう。
- ◆ 会長メッセージの「持続可能なインパクトを生み出そう」の実践を行おう。
- ◆ 革新の旗手となり、より良いロータリークラブを創り出す行動計画の推進者になろう。
- ◆ ロータリーの最大の財産である会員を増やし、奉仕の輪を広げよう。
- ◆ 3年間の目標（3-year Rolling Goals）を入力し継続していきましょう。
- ◆ クラブの維持増強と革新的タイプのクラブを創出しよう。
- ◆ ロータリーの未来のために積極的に青少年奉仕活動に取り組もう。
- ◆ 革新を育み、クラブのリーダーを支援する体制を創り出そう。

## 運営方針

- ◆ 地区（委員会）の目的は、ロータリークラブを強化し支援することである。国際ロータリー会長方針に従い、より魅力的なクラブ運営を支援する。
- ◆ 地区運営会議を重視し、継続性を持った地区活動を行う。
- ◆ ロータリーラーニングデーを開催、セミナーを集約することによって、負担を軽減するとともに会員の意識高揚を図る。
- ◆ 地区委員の在籍期間を最長5年とし、委員の更新に努め、新しい地区委員と地区リーダーを育成する。

## **ガバナー補佐**

- ◆ 地区主催の活動に積極的に参加する。
- ◆ 国際ロータリー会長方針を理解し、地区の行動計画に沿って、グループ内クラブを支援指導する。
- ◆ グループ内のクラブを年間 4 回以上訪問する。
- ◆ ガバナー補佐主導のグループ内、会長・幹事会を行い、グループ内の結束を固める。
- ◆ クラブに対する支援やクラブ間の調整にあたり、改善すべき問題点があればガバナーと協議の上、助言、指導する。
- ◆ 関係委員会と連携し、クラブやグループが奉仕プロジェクト、補助金プロジェクト等に積極的に取り組むように支援する。
- ◆ グループ内のリーダーを育成する。
- ◆ IM はグループ内クラブの現在のロータリーの方方向性に対する理解の場であり、国際ロータリー、地区の行動計画に則り行うことを推奨する。
- ◆ 地区大会および、地区活動に会員の参加を呼び掛ける。
- ◆ ガバナー指名ガバナー補佐は、地区ラーニング委員会の副委員長を兼務するとともに、地区委員会活動に助言を行う。

## **地区委員会**

### **ラーニング委員会**

- ◆ ラーニング委員長はガバナー、ガバナーエレクトと協力して、クラブと地区のリーダーにラーニング及び研修を行い、地区のラーニング及び研修計画を監督し支援する。
- ◆ ガバナー補佐研修、地区チーム・ラーニングセミナー、会長エレクト・ラーニングセミナー(PELS)、次期幹事・ラーニングセミナー(SELS)、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー、クラブ活性化ワークショップ、ロータリーラーニングデー等の計画と実施の責務を負う。
- ◆ 地区委員会が企画するセミナー等について、必要な意見を述べる。
- ◆ 担当グループ、クラブに各セミナーへの会員の参加を積極的に呼びかける。
- ◆ ラーニング委員会の委員は原則として各委員会の委員長で構成し、委員会間の情報を密にし、地区運営に協力する。
- ◆ DEI 小委員会は DEI(多様性、公平性、インクルージョン)の実践を促進するための会員、クラブ、地区の取り組みを支援する。

### **危機管理委員会**

- ◆ 地区並びにクラブでの危機管理事案に速やかに対応する。
- ◆ クラブにおける危機管理への認識を高めるための活動を行う。
- ◆ クラブの危機管理委員会への支援を行う。
- ◆ 地区委員会における危機管理意識の向上を図る。

### **規定審議委員会**

- ◆ 2027 年決議審議会に提案する決議案を、クラブの意見を踏まえて提案する。
- ◆ 2029 年規定審議会に提案する立法案の準備を行う。
- ◆ 国際ロータリー細則とクラブ定款・クラブ細則に対する理解促進を図る。

### **行動計画委員会**

- ◆ 国際ロータリーの行動計画および地区の行動計画に対する理解を推進する。
- ◆ クラブ管理運営委員会と協力し、クラブの行動計画委員会の設置を推進し、その活動を支援する。
- ◆ 新しい地区ビジョンおよび地区行動計画のクラブへの周知を図る。
- ◆ 行動計画推進リーダーへの協力、連携を行う。

## 地区財務委員会

- ◆ 地区予算案の作成並びに地区資金の管理および地区財務に関する年次報告書を作成する。
- ◆ 収支が正確に保持されているか常時確認する。

## 奉仕プロジェクト特別会計委員会

- ◆ 奉仕プロジェクト特別会計への資金支援申請を審査する。
- ◆ 資金支援を行った奉仕プロジェクトの実施報告を確認する。

## 監査委員会

- ◆ 地区活動並びに会計が適切かを監査する。

## クラブ管理運営委員会

- ◆ クラブの効果的な管理運営に関する活動の実施を支援する。
- ◆ 全クラブが将来のビジョンや行動計画を策定するのを支援する。
- ◆ クラブの行動計画委員会の設置状況を調査し、未設置クラブへは設置を推進し、その活動を支援する。
- ◆ My ROTARY への登録率向上と積極的に活用できるよう支援する。
- ◆ DX 小委員会は地区運営およびクラブ運営を支援し、地区 SNS による活動の発信をする。

## 社会奉仕委員会

- ◆ クラブが取り組むと良い地区内の新しい傾向、課題、または問題を特定するのを援助する。
- ◆ 情報を分かち合い、クラブの目標設定を援助することを通じて、クラブ社会奉仕プロジェクトとロータリー以外の地元の奉仕団体とパートナーシップ分野を探す。
- ◆ 地区やゾーンの会合で、優れた社会奉仕プロジェクトの展示を実施する。
- ◆ クラブやグループが地区補助金プロジェクトを積極的かつ円滑に行えるように必要な支援を行う。
- ◆ 公共イメージ委員会と連携して地区補助金プロジェクトの実施状況を見学、検証し、他クラブへの情報発信を行う。
- ◆ 発達障がい理解のための基礎と実践講座の開催および関連する活動を展開する。
- ◆ プロバスクラブとの相互理解を図るとともに活性化に取り組む。
- ◆ 環境小委員会は、地球上の自然環境や生態系を保護し持続可能な状態を維持するための取り組みを考える。また、環境に関連する月間（4月）において、クラブの関連プログラムに協力する。

## 国際奉仕委員会

- ◆ 他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、国際理解、親善、積極的平和を推進する。
- ◆ クラブや地区がグローバル補助金等を活用し、多様な国際奉仕活動が実施できるように支援する。
- ◆ VTT、奨学金・平和フェローシッププログラムを支援する。
- ◆ 国際奉仕に関連する月間において、クラブの関連プログラムに協力する。

## ロータリー財団委員会

- ◆ 5 小委員会の連携によってロータリー財団の理解を深め、活動を推進する。
- ◆ ロータリー財団セミナー、補助金管理説明会、補助金管理セミナーを実施する。
- ◆ ロータリー財団補助金プログラムの最終審査を行うとともに、プログラムが適切かつ適正に実施されるように指導および管理をする。
- ◆ ポリオ根絶のための活動を積極的に支援する。
- ◆ ロータリー財団への寄付を推進する。
- ◆ ロータリー財団月間(11月)において、クラブの関連プログラムに協力する。

## 職業奉仕委員会

- ◆ 職業奉仕の理念について研鑽し、成果を踏まえて基本理念が広く会員に理解されるように努める。
- ◆ クラブにおける職業奉仕プロジェクトをより広めるように努める。
- ◆ 職業奉仕月間(1月)において、クラブの関連プログラムに協力する。

## 青少年奉仕に関連する委員会の共通項目

- ◆ 青少年奉仕は指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識する。
- ◆ クラブの青少年奉仕活動の認知度向上、協力体制の強化をする。
- ◆ 青少年奉仕関連プログラムの危機管理体制を確立する。
- ◆ 学友委員会他関係委員会と連携し、学友の活動を支援する。
- ◆ 青少年奉仕月間(5月)において、クラブの関連プログラムに協力する。

## インターアクト委員会

- ◆ インターアクトクラブの活動支援、活性化方策の提案、新クラブの設立をめざす。
- ◆ インターアクトクラブの海外交流について検討する。

## RYLA 委員会

- ◆ RYLA プログラムへの会員の理解向上を深め、実施する。
- ◆ 現在の RYLA プログラムを検証し、より充実した RYLA プログラムを研究する。

## 青少年交換委員会

- ◆ クラブとの協力のもとに青少年交換プログラムに取り組み、クラブを支援する。
- ◆ インターアクトクラブの海外交流に協力する。

## 会員維持増強委員会

- ◆ ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力し、職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付ける方策を検討する。
- ◆ 若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく方策を検討する。
- ◆ 会員増強につながる会員増強策を推進、実施し、地区内に新しいロータリークラブを結成する計画を立て、実行する。
- ◆ さまざまなクラブモデルを採用し、推進する。
- ◆ 会員増強および会員基盤の多様化に成功した事例を検証して紹介する。
- ◆ 退会防止に向けた企画を提案し、推進する。
- ◆ 会員増強・新クラブ結成推進月間(8月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

## 公共イメージ委員会

- ◆ ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上への取組みを行う。
- ◆ 地区補助金プロジェクト実施状況を見学、検証、情報発信に取り組む。
- ◆ 報道機関との定期的交流を実施する。

## RLI 委員会

- ◆ RLI 方式による地区リーダー、クラブリーダーの育成のための研修を行う。
- ◆ ガバナー補佐研修、地区チーム・ラーニングセミナー、会長エレクト・ラーニングセミナー(PELS)、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー、その他地区の主催するセミナーを積極的にサポートする。

## ローターアクト委員会

- ◆ 国際ロータリー（RI）構成クラブとしての活動の活性化を支援する。会員増強およびクラブの拡大の方策を提案し実施する。
- ◆ 危機管理体制を確認する。

## 学友委員会

- ◆ 5 学友会相互間の交流を促進し、ロータリーファミリーとしての一体化意識を形成する。
- ◆ 地区やクラブ行事への学友の参加を積極的に推進し、ロータリーに対する理解を深める。
- ◆ 青少年奉仕に関連する委員会、ローターアクト委員会と連携し、ロータリーファミリーの集いを企画し実施する。
- ◆ 学友を中心とした新しいタイプのクラブの創出を推進する。

## 米山記念奨学委員会

- ◆ 米山記念奨学会の目的や活動内容について会員の理解を深める。
- ◆ 米山奨学生が会員との交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図ることを支援する。
- ◆ 米山奨学生学友会(兵庫)の活動を支援する。
- ◆ PHD 協会の活動を支援する。
- ◆ 米山月間(10 月)において、クラブの関連プログラムに協力する。

### 2026-27 年度 年間数値目標

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. 会員増強          | 各クラブ純増 2 名              |
| 2. My ROTARY 登録率 | 75%以上                   |
| 3. ロータリー財団年次基金   | 1 名あたり 130 ドル           |
| 4. ロータリー財団恒久基金   | ベネファクターまたは遺贈友の会会員 10 名増 |
| 5. ポリオ基金         | 1 名あたり 40 ドル            |
| 6. 米山記念奨学会       | 1 名あたり 17,000 円         |

### 2026-27 年度 クラブ優秀賞

#### 重要事項

1. ロータリークラブ・セントラルを開く
2. 目標内容を確認する
3. その中から半分を超える目標（全目標の 51%）を選ぶ
4. 選んだ目標を達成する
5. ロータリークラブ・セントラルで目標の達成を報告する
6. 達成を祝う！

#### 留意点

- クラブ優秀賞の手続きは My ROTARY で行われます。
- クラブは、1 年（2026 年 7 月 1 日～2027 年 6 月 30 日）をかけて達成に取り組みます。
- クラブ優秀賞を獲得するには、その年度を通じて正規クラブであり、瑕疵（人頭分担金の未納）がないクラブでなければなりません。
- ローターアクト優秀賞は、ロータリークラブと同様にロータリークラブ・セントラルで目標を入力、達成項目をチェックし報告します。
- インターアクト優秀賞は、提唱ロータリークラブの会長が、My ROTARY よりオンライン推薦状を提出します。表彰状は推薦者あてにメールで届くリンクからダウンロードする PDF 形式となります。